



# 女子大学の魅力発見

文学部 日本語日本文化学科

日時 2月22日(月)~3月22日(火)

場所 グランフロント大阪 北館  
ナレッジキャピタル ザ・ラボ3F  
大学都市KOBE!発信ブース



1892年(明治25)、神戸北野町に創設された松蔭女学校。キリスト教精神に基づく神戸松蔭の女子教育は聖書講義とともに当時の先端科目である英語と裁縫を中心に始まりました。それは近代化・西洋化の流れの中で、教養を身につけ自立のできる女性の養成を目指すものでした。125年の歴史を踏まえ、神戸松蔭女子学院大学は今日も「深い教養知識と広い実用技能の融合」を教育理念としています。

今回の「大学都市KOBE!発信プロジェクト」では文学部 日本語日本文化学科を取り上げます。本学科には「現代日本語専修」と「日本文化専修」を設け、「ことば」を知り、「文化」を理解することで、日本の新たな魅力を探求し続けています。そのような教育・研究の原点ともいえる学びに落ち着いてじっくりと取り組めるのも、神戸の女子大学ならではの魅力のひとつです。

## 展示品

### 助数詞について

日本語にはたくさんの助数詞があります。普段、あまり数えることがない物の正式な助数詞を紹介します。



### 外来語について

日本語にはたくさんの外来語があります。それらは、英語だけでなく、世界の色々な言葉からきています。外来語がどこの国からきているのか、外来の由来を紹介します。



### 豊岡市のことばのゆくえ

日本語日本文化学科では、毎年方言調査を行っています。昨年は夏に豊岡市に赴き、主に市街地にお住まいの方々のことばを調べました。調査内容はアクセントや動詞の活用、待遇表現についてであり、特に世代差を中心に調べています。この展示では、その結果の概要を速報として紹介します。

## イベント(ミニワークショップ)

時間 全日程共通 ①13:00~13:30 ②14:00~14:30 ③15:00~15:30 対象 一般の方(申込不要・参加費無料)

I 2月27日(土)・28日(日) 楽しい日本語の世界 「いる」と「ある」の使い分けについて

II 3月 5日(土) 方言地図を作ってみよう

詳しくはチラシの裏面をご覧ください。



神戸松蔭女子学院大学

後援:神戸市

# 女子大学の魅力発見

## イベント (ミニワークショップ)

**場所** グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル ザ・ラボ3F

**対象** 一般の方 (申込不要・参加費無料)

### I 楽しい日本語の世界 「いる」と「ある」の使い分けについて

**日時** 2月27日(土)・28日(日)

① 13:00~13:30 ② 14:00~14:30  
③ 15:00~15:30

英語ではThere is a cat (猫がいる)とThere is a book (本がある)は同じ、“There is~”を使います。しかし、日本語では「猫がいる」「本がある」のように「いる」と「ある」を使い分けます。日本人は無意識に使い分けていますが、日本語を勉強する外国人にとって、これが難しいのです。そこで、どういう時に「いる」を使い、どういう時に「ある」を使っているのか日本語の使い分けのルールについて考えていきます。また、例外になるものについても考えてみましょう。

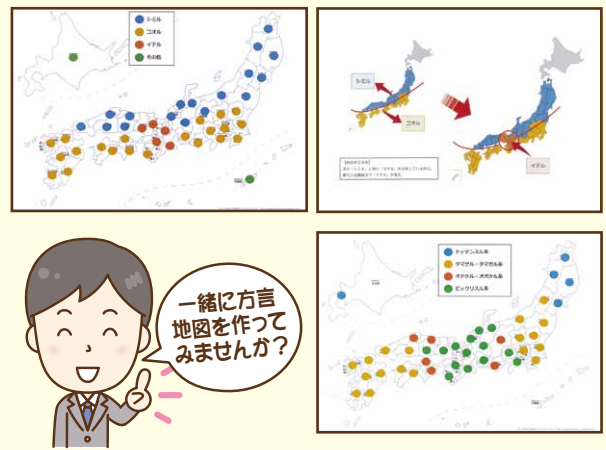


### II 方言地図を作ってみよう

**日時** 3月5日(土)

① 13:00~13:30 ② 14:00~14:30  
③ 15:00~15:30

地域によってことばは異なりますが、それはばらばらにあるわけではなく、ある程度まとまりをもって存在しています。どの地域にどのことばがあるかを調べると、思いもよらないことがわかります。このワークショップでは、簡単な方言地図を作ることによって、ことばの地域差を実感し、なぜそのような分布になったのかを考えます。



お問い合わせはこちらまで

神戸松蔭女子学院大学 企画課 TEL.078-882-6159 E-mail:kikaku@shoin.ac.jp